

## 鼻の疾患に対する 低侵襲日帰り手術好評 高度の医療技術で 患者負担の軽減追求

局所麻酔で痛みは軽微  
アレルギー性鼻炎も可

『石戸谷耳鼻咽喉科』の  
石戸谷淳一院長は、生体  
防御で重要な働きをする  
白血球に関する研究  
で医学博士の学位を東  
大で取得、長年にわた



石戸谷淳一 院長  
徳島大学医学部卒。国立国際医療センター・研修医。医学博士(東京大学医学部)。米国の国立衛生研究所(NIH)にResearch Fellowとして留学。国立国際医療センター・耳鼻咽喉科医長、横浜市立大学附属市民総合医療センター・耳鼻咽喉科教授。

り国立病院や大学病院  
で耳鼻咽喉の多様な疾  
患に向き合い手術症例  
を数多く重ね、Best Do  
ctors in Japanにも選出  
された日本耳鼻咽喉科  
学会専門医。副鼻腔炎  
の名医としても広く知  
られている。2014年  
の開業以来、確かな診  
療で声価を高めてきた  
が、中でも存在感を示  
しているのが、鼻づまり



や匂いがわからないなど  
生活の質に深く関わる  
副鼻腔炎や鼻中隔彎曲  
に対する的確で低侵襲  
の日帰り手術だ。  
石戸谷院長は、火曜  
と金曜の午前を日帰り  
手術の時間に充てる。  
手術は、両側を一度に行  
い手術の負担が一度で済  
む。鼻づまりや鼻汁、  
鼻汁がのどに垂れる後鼻  
漏(こうびろう)、痰咳、



頭重感、嗅覚障害など  
の症状がある慢性副鼻  
腔炎などに対して、十分  
に局所麻酔を行い、内  
視鏡を挿入して鼻内をモ  
ニターに映しながら出血  
の少ない低侵襲の手術を  
行う。局所麻酔でも痛  
みは軽微で、手術中も  
石戸谷院長や看護師さ  
んと会話を楽しむ患者  
さんも多い。  
慢性副鼻腔炎の中で

### 石戸谷耳鼻咽喉科

いしとやびいんこうか

☎ 03-5315-3341

📍 東京都世田谷区南鳥山6-4-29 南鳥山アスピレーションビル

https://www.ishitoya.jp/



も近年急増している難治  
性の好酸球性副鼻腔炎  
についても日帰り手術で  
対応する。  
「好酸球性副鼻腔炎は、  
白血球の一種の好酸球と  
いうアレルギー反応に関  
わる細胞が鼻・副鼻腔  
に多く出現し、喘息を  
合併することが多い疾  
患です。原因、病態は  
いまだ不明な点が多いで

すが、嗅覚障害、鼻閉、  
粘り気の強い鼻汁や後鼻  
漏などが主要症状です。  
手術は慢性副鼻腔炎と  
同様に局所麻酔の日帰  
り手術で行っています。」  
このほか、左右の鼻腔  
の間にある鼻中隔が曲  
がって鼻づまりや嗅覚障  
害の原因となる鼻中隔  
彎曲症に対しても、内  
視鏡下鼻内手術で曲がっ

ている部分の骨や軟骨を  
摘出する。局所麻酔の  
手術なので患者さんが手  
術中に劇的に鼻の通りが  
よくなることが実感でき  
る。重症のアレルギー性  
鼻炎については、粘膜下  
下鼻甲介骨切除術や後  
鼻神経切断術などで対  
応する。鼻の通りがよ  
くなり匂いもよくわかる  
ようになって食事がおい

しくなると、人生が変  
わったと喜ぶ患者さんも  
いるそうだ。  
こうした鼻の手術で  
は、通常は術後2〜3  
日間、鼻内のガーゼパッ  
キングを行うが、石戸谷  
院長はそれが頭重感な  
ど術後の苦痛の原因とな  
るとして手術翌日にでき  
るだけ鼻内ガーゼを抜  
去し、患者さんの術後の

辛さが早期に解消され  
るように努めている。  
手術はもちろん、手  
術前の説明から術後の  
処置まですべて石戸谷院  
長にしてもらえるのが何  
よりも心強く、高度の  
医療技術と心配りが相  
まって信頼度は高まる一  
方だ。(ライター/斎藤悠)



🕒 9:30~12:00 15:00~18:00

🗓 日曜日・祝日・火、金曜日午前・木、土曜日午後